



2021年9月21日

各位

会社名 BASE 株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 鶴岡 裕太
(コード番号:4477 東証マザーズ)
問い合わせ先 取締役上級執行役員 CFO 原田 健
TEL. 03-6441-2075

「BASE (ベース)」のネットショップ開設数が160万ショップを突破

この度、BASE株式会社(所在地:東京都港区、代表取締役CEO:鶴岡 裕太)が運営するネットショップ作成サービス「BASE (ベース)」のネットショップ開設数が、2021年9月18日(土)に160万ショップを突破したことをお知らせいたします。

 **BASE** 累計ネットショップ開設数の推移



■「BASE」の160万ショップ突破と加盟店に向けた取り組みについて

「BASE」は、2012年11月にサービスを提供開始して以来、誰でもかんたんにネットショップが作成できるサービスとして、多くの個人・スモールチームの皆様にご利用いただき、この度、累計ネットショップ開設数が160万ショップを突破いたしました。

「BASE」は今後も、サービスを提供開始してからこれまで継続してご利用くださっているショップオーナー様、コロナ禍を機にネットショップ運営を本格化されたショップオーナー様、そして現

在ネットショップの開設を検討されている皆様に、これまでと変わらず誰でも簡単に利用できて、ネットショップを運営されるショップオーナーが日々の商品開発や制作に集中できるように、ネットショップ運営にかかる作業負担のさらなる軽減に向けて機能開発に取り組んでまいります。

また、昨今では、全国で拡大する新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、現在も国内各地で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による不要不急の外出自粛要請や一部事業者への営業自粛要請等が続いています。2020年4月の緊急事態宣言直後に急増した「BASE」のネットショップ開設の需要は、当初の“コロナ禍で営業が困難となった実店舗などの売上を一時的に補う手段”から、徐々に“実店舗と並行した新たなビジネスの手段”として定着しつつあります。

このように新たなビジネスの手段として「BASE」をお選びくださるショップオーナー様に対しても、拡張機能「BASE Apps」を通じて提供する80種類以上の機能から、ご自身のネットショップ運営に最適な機能を選択・導入いただき、それによってきちんとビジネスを支援できるよう、オウンドメディア「BASE U」やSNSを通じた機能紹介等の情報発信も強化してまいります。

■現在開発中の「BASE」新機能について

現在開発中で今後リリースを予定している機能の一部をご紹介します。ネットショップ運営の作業負担の軽減に加えて、顧客管理機能などお客様とコミュニケーションがよりスムーズに行える運用面の開発を進めております。

<今後リリース予定の機能>

- 1、顧客管理機能アップデート
- 2、スタッフ権限管理 App

1、顧客管理機能アップデート

リピーター・新規顧客などの特定の顧客グループに対してイベントや限定商品のお知らせなどを配信でき、お客様の購入状況に合わせたコミュニケーションが可能になります。



顧客管理機能アップデート

2、スタッフ権限管理 App

複数人でネットショップの運営・管理をする際に、スタッフごとに管理画面の閲覧権限を付与でき、外部に制作・運用業務を委託する場合なども、情報管理を適切に行いながら安全に運営することが可能になります。



スタッフ権限管理 App

上記機能は開発中のため、内容・名称等を変更する可能性があります。

なお、上記機能に加えてショップオーナー様をサポートする新たな機能開発も行っておりますので、詳細は順次ご案内させていただきます。

< 「BASE」の情報発信について >

・オウンドメディア

拡張機能「BASE Apps」の新機能や、人気機能の活用方法、各種サービスや機能を活用されているショップオーナー様のインタビュー記事など、「BASE」を最大限に活用してネットショップを運営するノウハウを発信しています。

「BASE U」

URL : <https://baseu.jp>

・公式 SNS

新機能の紹介や「BASE U」の新着記事、ショップ紹介をはじめ「BASE」のサービスに関する様々な情報を発信しています。

Twitter @BASEec

URL : <https://twitter.com/BASEec>

Instagram @BASEec

URL : <https://www.instagram.com/baseec>

BASEは今後も、「BASE」が提供するすべてのサービスを通じて、個人・スモールチームの可能性を広げるパートナーとして、ショップオーナーが生み出す価値を最大化できるようなサポート施策や機能開発などに多方面から取り組んでまいります。

以上